

5. 経営上の障害

経営上の障害について、全産業の過去5年間推移をみると、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が58.0%で第1位となり、前年度第1位であった「人材不足（質の不足）」が49.7%で第2位、「労働力不足（量の不足）」が33.8%で第3位となっている。

以下、「販売不振・受注の減少」が33.3%、「同業他社との競争激化」が19.3%と続く結果となっている。

第10図表 経営上の障害（複数回答、上位比率5項目：全産業）

(%)

順位	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1位	人材不足 （質の不足） 54.8	人材不足 （質の不足） 56.3	販売不振・受注の 減少 53.3	人材不足 （質の不足） 49.0	光熱費・原材料・ 仕入品の高騰 58.0
2位	労働力不足 （量の不足） 37.8	労働力不足 （量の不足） 37.0	人材不足 （質の不足） 43.9	販売不振・受注の 減少 41.9	人材不足 （質の不足） 49.7
3位	原材料・仕入品の 高騰 29.7	販売不振・受注の 減少 29.9	同業他社との 競争激化 27.1	原材料・仕入品の 高騰 34.4	労働力不足 （量の不足） 33.8
4位	販売不振・受注の 減少 28.2	原材料・仕入品の 高騰 29.9	労働力不足 （量の不足） 21.4	労働力不足 （量の不足） 25.0	販売不振・受注の 減少 33.3
5位	同業他社との 競争激化 26.0	同業他社との 競争激化 22.5	人件費の増大 19.0	同業他社との 競争激化 23.8	同業他社との 競争激化 19.3

※令和4年度より「原材料・仕入品の高騰」に「光熱費」が追加

また、経営上の障害について、業種別にみると、製造業計では「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が70.0%、「人材不足（質の不足）」が43.5%、「販売不振・受注の減少」が38.8%と続くのに対し、非製造業計では「人材不足（質の不足）」が57.3%、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が43.2%、「労働力不足（量の不足）」が40.1%と続く結果となっている。

第11図表 経営上の障害（複数回答、業種別）

